



本社工場 ISO9001:2008 認証取得



破碎 減容 圧縮脱水 設計製作 メンテナンス

株式会社 小熊鉄工所





創造性あふれる「もの造り」と 「顧客満足」につながる メンテナンス体制



人と地球のより良い関係を 維持するために…

物質面で豊かな時代。
その反面、「物が生み出され、有効利用され、廃棄される」
その繰り返しが、豊かな営みにおいて、
生活環境の破壊を招くとすれば…。
不要な物が再資源化されない限り、
本当の豊かな時代とは言えないのではないのでしょうか。
技術開発は未来永劫に亘り進化しつづけます。
それに対して、地球資源には限界があります。
「自然との調和を図る」ことは、
この大地で人間が生きつづける限りの永遠のテーマです。
地球にやさしい生活環境を維持する
「資源のリサイクル」を提案したいと考えております。

私たちのコンセプトは、For The People, For The Earth.

(財)クリーン・ジャパン・センター
会長賞を受賞
再資源化貢献企業として認定。



減容固化とは、再資源化に直接結びつくというわけではありません。しかし、減容固化することで「ゴミを捨てる」という言葉が「燃料を貯蔵する」という言葉と同意語になるとしたらどうでしょう。デュアルプレタイザーの本領が発揮されるのは、その時です。

当社は、再資源化貢献企業として、(財)クリーン・ジャパン・センターの選考する「クリーン・ジャパン・センター会長賞」をいただきました。

これからも同賞に恥じぬよう、社員一同さらに努力を重ね、皆様のお役に立つことを願う所存です。

研ぎ澄まされた発想と 経験に裏付けられた技術力



「ロータリーバルブのケーシング構造」 (特許・第1897134・平成7年1月23日) 「燃料供給装置」 (特許・第1922641・平成7年4月7日)



「破碎機」 (特許・第4605330 平成22年10月15日) 「成型固化物冷却方法及びそのコンベヤ装置」 (特許・第4612901 平成22年10月22日)



「産業廃棄物の圧縮成型装置」 (特許・第5776975 平成27年7月17日)

技術を包む土壌から、また一步。

限りない人の英知と情熱を引き出すために、
当社は創業以来さまざまな設備の合理化を図り
開発・生産体制を強化すると共に、
常に最先端の技術を導入し、徹底した品質管理の
確立に邁進してきました。
確かな技術を包むフィールドの中で、
既に明日の快適環境を築く技術革新の芽は育っています。
私たちはこれからも変貌著しい社会ニーズを
いち早くキャッチし、高い信頼性とオリジナリティを
備えた最新テクノロジーで資源循環型社会に
貢献していきます。

**最新設備を駆使して、
技術力を活かした製品づくりに務めています。**



**15tクレーン2機を設備し、高能率な
生産・出荷体制で信頼される製品をお届けします。**



当社は2003年にISO9001を認証取得しております。



本社工場 ISO9001:2008 認証取得

人、そして地球のためになる企業を目指していきます

■会社概要

会 社 名／株式会社 小熊鉄工所
代 表 者／小 熊 靖 生
所 在 地 ●本社工場
新潟県柏崎市茨目1253
TEL.0257(22)3781(代表)
FAX.0257(24)0173
URL <http://www.oguma-iron-works.com>
E-mailアドレス info@oguma-iron-works.com
●名古屋事務所
愛知県名古屋市中川区吉津2-2608
TEL.052(432)3502 FAX.052(432)3502
創業年月／昭和26年3月
資 本 金／1,000万円

■会社沿革

昭和26年 3月／柏崎市大和町に於いて機械加工を
個人創業
昭和40年 4月／柏崎市三和町に新工場を増設
昭和54年 2月／ロータリーバルブ設計・試作を開始
昭和60年 5月／デュアルプレタイザーDP-10型
開発・設計・試作を開始
昭和61年 5月／本社・新工場を現在地に移転
昭和61年 7月／法人設立「株式会社 小熊鉄工所」
に名称変更
平成 1年12月／デュアルクラッシャーDC-35型開発
平成 2年 1月／デュアルプレタイザー
DP-20型・DP-30型・DP-50型
開発・設計・試作を開始
平成 3年 3月／工場増設
平成 3年 4月／アメニティエンジニアリング 株式
会社を設立
平成 5年 4月／中部営業所開設
平成 8年 4月／東京営業所開設
平成 8年 4月／開発研究室開設
平成 9年 8月／名古屋事務所開設
平成 9年 9月／シュレッドエース
SA-30型 開発・設計・試作を開始
平成10年 8月／シュレッドエース
SA-55型・SA-130型 開発・設計・試
作を開始
平成12年 7月／米国オレゴン州 SSI社と技術提携
平成12年 8月／新型シュレッドエース
SA-55型 開発・設計・試作を開始
平成12年12月／新型シュレッドエース
SA-30型・SA-90型 開発・設計・試
作を開始
平成13年 4月／本社新工場完成
平成14年 5月／米国SSI社との技術提携により
4軸破砕機をラインナップに追加
平成15年10月／ISO9001公認取得
平成16年 4月／特殊耐磨耗施工を新導入
平成16年12月／ISO14001公認取得
平成17年 5月／デュアルプレタイザーに油圧モ
ーターを採用
平成17年 5月／シュレッドエースにダブルプッ
シャーを採用
平成17年12月／冷却兼排出コンベア
「クールブレーカー」開発
平成19年 6月／圧縮分離装置
「スキーズセパレーター」開発
平成22年10月／R.P.F専焼ボイラー
「バーン プラスター」開発
平成22年10月／特許取得
「成型固化物冷却方法及びその
コンベア装置」

■営業内容

〔営業品目〕

- 都市分別収集プラスチックゴミ処理プラント
- 廃プラスチック処理プラント
- 産業廃棄物処理プラント
- R.P.F製造プラント
- 特殊鋼による耐磨耗施工
- R.P.F冷却装置
- バルバー粕脱水、固形燃料化プラント

〔設計・製作・販売〕

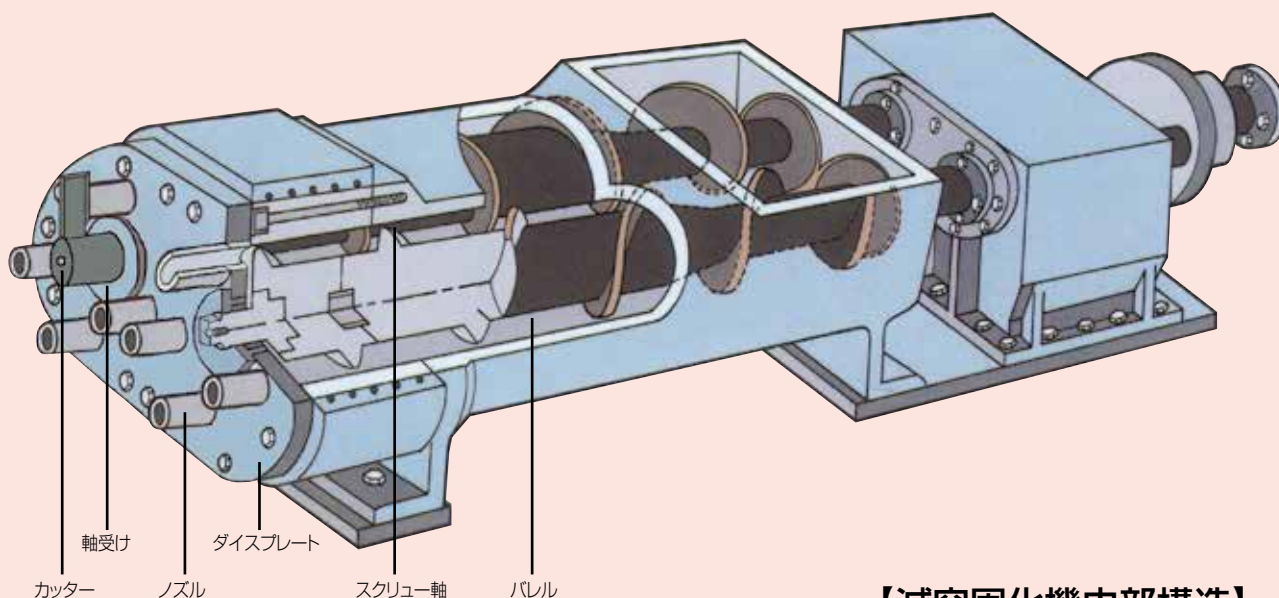
- 二軸廃プラ減容固化装置「デュアルプレタイザー」
- 一軸式破砕機「シュレッドエース」
- 二軸廃プラ圧縮破砕機「デュアルクラッシャー」
- 冷却・搬送コンベア「クールブレーカー」
- 圧縮分離装置「スキーズセパレーター」
- R.P.F専焼ボイラー「バーン プラスター」
- 定量供給装置 ●トロンメル ●各種コンベア
- その他、エンジニアリング各種

DUAL PRETISER / 二軸式廃プラスチック減容固化機

デュアルプレタイザー 6つのメリット

- 1 活用度が高い**
都市ゴミ、廃プラスチック等、あらゆる産業廃棄物の減容固化が可能です。また、廃棄物を利用した固形燃料（R.P.F）やリサイクル原料としての再活用も可能です。
- 2 安定した運転が可能**
スクリーを前・後の両軸で支えているため、回転運動による軸の振れ開きを抑制して運転するため、強力に減容固化する事ができます。
- 3 コンパクトかつ省エネ設計**
スクリーウの長さを必要最小限に設計してあるため、小型化・低動力化を達成しました。
- 4 低温域で処理**
比較的低温域（150℃以下）で処理するため、排ガスの心配はありません。また、騒音や振動も抑えています。
- 5 メンテナンスが容易**
磨耗部には耐磨耗材を使用し、特に磨耗の激しい部分は取り替え可能な分割式（カートリッジ式）としたので、メンテナンスが容易です。
- 6 逆転運転が可能**
両軸構造のため、運転終了時や万が一の異物混入時に逆転し、トラブルシュートが容易です。

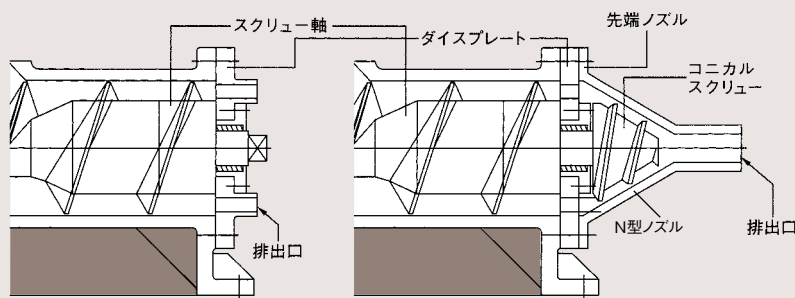
豊富な実績から生まれた、独自のノウハウを凝縮させた
廃プラ減容固化装置。R.P.F2軸式押し出し成形機



【減容固化機内部構造】

S型はスクリーと投入物との摩擦により圧縮だけで減容固化し、排出される方式です。

N型成形はS型で排出された対象物をさらにもう一度N型ノズルで圧縮する二段階圧縮方式です。



S型(標準型)〔主にR.P.F生産向け〕

N型(二段階圧縮型)〔主に埋め立て処理向け〕

【二段階圧縮方式】

特許 オリジナル

「産業廃棄物の圧縮成型装置」

固形化しづらいものや水分を多く含んでいるものでも、容易に固形化することができます。

DUAL PRETISER/二軸式廃プラスチック減容固化機

●仕様

型 式		DP-3	DP-10	DP-20	DP-30	DP-50	DP-100
項 目	公 称 能 力 ^{※1} [m ³ /h]	3	10	25	40	60	100
能力 ^{※2} [t/h]	プラスチック系 都市ゴミ	0.10 1/10	0.4 1/10	0.7 1/10	1.2 1/10	1.8 1/10	2.5 1/10
	プラスチック系 産業廃棄物	0.12 1/10	0.5 1/10	0.9 1/10	1.3 1/10	2.0 1/10	3.0 1/10
	梱包用 プラスチック等	0.07 1/30	0.3 1/30	0.5 1/30	1.0 1/30	1.5 1/30	2.0 1/30
	廃車 シュレッダーダスト	0.15 1/5	0.6 1/5	1.2 1/5	1.7 1/5	2.5 1/5	3.5 1/5
減容比 ^{※3}	本 体	11	45	90	132	200	315
	ヒ ー タ ー	バレル 2.2 ノズル 0.6	バレル 3.6 ノズル 1.0	バレル 7.2 ノズル 2.2	バレル 10 ノズル 3.7	バレル 15 ノズル 10	バレル 30 ノズル 20
	カッター	0.4	0.75	1.5	1.5または2.2	2.2	5.5
スクリー 径 [mm]		φ144	φ226	φ335	φ390	φ470	φ560
投 入 口 寸 法 [mm]		200x150	400x250	550x350	700x550	900x700	1,070x900
製 品 サ イ ズ [mm]	S型	φ6 ~ φ24	φ10 ~ φ25	φ15 ~ φ35	φ20 ~ φ45	φ25 ~ φ60	φ30 ~ φ70
	N型	φ28 (x2)	φ50 (x2)	φ75 (x2)	φ90 (x2)	φ110 (x2)	φ140 (x2)

●外形寸法^{※4}

型 式	サイズ	L [mm]	W [mm]	C [mm]	H [mm]	本体重量 [kg]
DP-3(S)		2,020	760	400	840	800
DP-3(N)		2,790	760	400	840	1,000
DP-10(S)		3,110	940	520	970	2,500
DP-10(N)		3,785	940	520	970	2,800
DP-20(S)		3,800	1,250	715	1,460	7,000
DP-20(N)		5,250	1,250	715	1,460	7,600
DP-30(S)		4,600	1,430	810	1,570	10,000
DP-30(N)		6,330	1,430	810	1,570	11,000
DP-50(S)		5,200	1,850	875	1,650	17,000
DP-50(N)		7,465	1,850	875	1,650	18,500
DP-100(S)		6,520	2,250	965	1,760	30,000
DP-100(N)		9,110	2,250	965	1,760	32,000

※1…被処理物の組成や前処理状態によって、処理能力は異なります。(処理物によって大きく変動しますので御相談ください。)

※2…当社実験値、被処理物は、破碎・分別等の前処理をしたものです。

※3…当社実験値、被処理物に前処理をする前の容積と、減容後の容積との比較です。

※4…型式末尾の(S)は標準型、(N)は二段階圧縮型を示します。

●製品の改善や性能向上のため、仕様・寸法等を予告なく変更する場合があります。

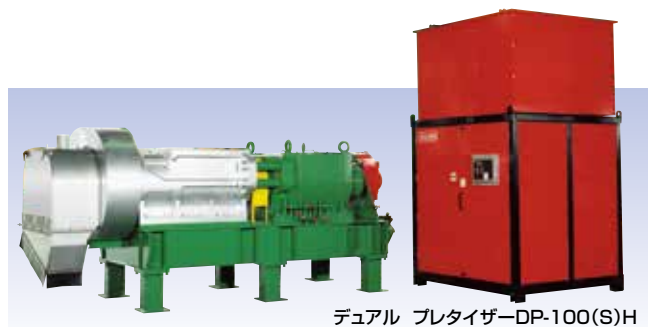
《オプション》国内初の油圧駆動方式(ハイドロ・ドライブ)

●油圧駆動のメリット

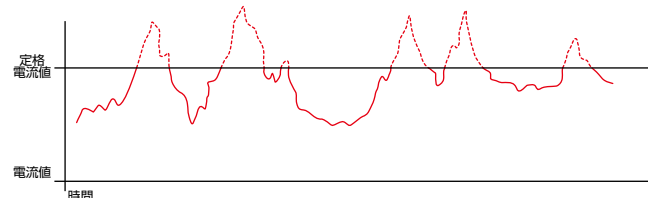
特 徴	効 果
過負荷を抑制できます。	・機械やモーターを壊しません。 ・運転管理が楽になります。 ・処理能力の増加が見込めます。
回転数を変えられます。	・材料の特性に合わせた回転数を設定 できます。 ・製品の品質も一定にできます。
全回転域でフルトルクです。	・始動時でも高トルクです。 (力強くソフトにスタート) ・自動逆転がスムーズにできます。
始動・停止や正転・逆転に 制限がありません。	・トラブルを回避できます。 ・運転管理が楽になります。
俊敏に停止できます。	・機械を壊しません。 ・トラブルを回避できます。

その他にも・機械に優しい。

- ・効率が低い運転が可能となる。
(処理能力が上がる。電気使用料金が下がる。)(歩留まりが良くなる。)
- ・メンテナンスコストを削減できるなどのメリットがあります。



デュアル プレタイザーDP-100(S)H



破碎・R.P.F生産システム DISPOSAL FLOW



■投入コンベア

床より下に配置する事により
投入作業が効率よく行えます。



■一軸破碎機 (SA-90)

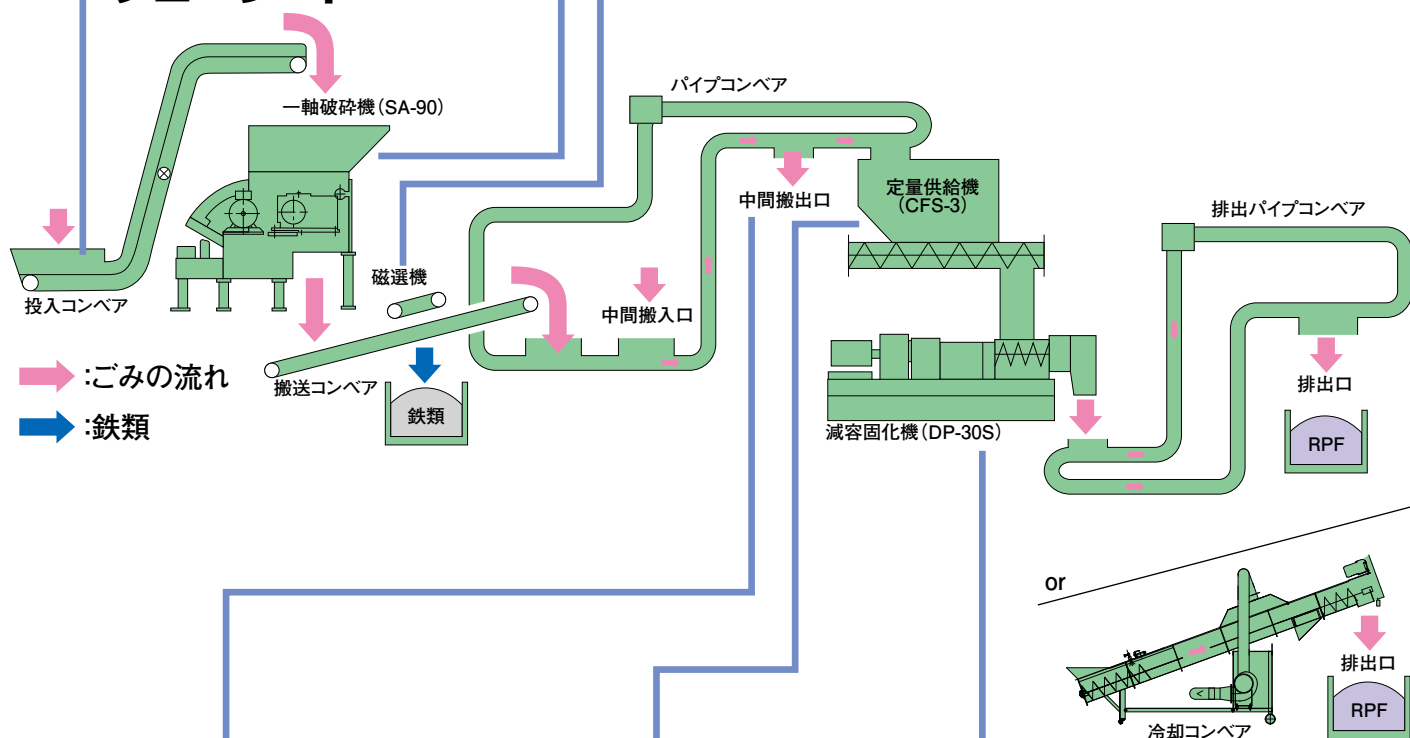
高回転のローターで細かく
破碎されます。



■磁選機

万が一の異物混入に備えて磁選機で
鉄類を除去します。

R.P.F製造設備 フローシート



■中間搬出口

※ラインの途中に中間搬出口を
設けてある為、破碎のみの処
理でも排出できます。



■定量供給機 (CFS-3)

コンスタントに破碎物を
投入出来るフィーダーです。



■減容固化機 (DP-30S)

押し出し成型された
R.P.Fが排出されます。

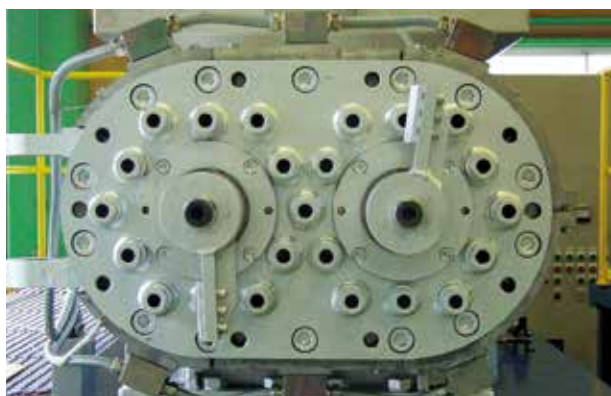


デュアルプレタイザー

当社は、減容固化(R.P.F)設備への前処理工程を含む廃棄物の減容処理システムの設計・施工を行っております。減容処理システムのご照会の際は、次の事項についてお知らせ下さい。

- | | |
|-------------|----------------------------|
| ①被処理物の名称 | ②被処理物の組成およびそれぞれの重量比(水分も含む) |
| ③被処理物の形状 | ④被処理物の見掛比重 |
| ⑤1時間当たりの処理量 | ⑥処理後の希望される形状 |

S型ダイスプレート(R.P.F生産向け)



仕様によりノズルを脱着し、サイズを変更することも可能です。

特殊耐摩耗施工

従来の3倍の耐摩耗を実現。

当社の新方法による耐摩耗施工は従来の施工品に比べ3倍以上(当社比)の耐久性を持っています。具体的にはタングステンカーバイド特殊鋼を専用技術により溶接しており、製品の使用用途、顧客のニーズに合わせた施工が可能となります。

●カートリッジスクリー摩耗状態の比較(ほぼ同時運転時間で比較)



タングステンカーバイド粒体内肉盛施工



従来の肉盛施工

R.P.F

Refuse

(廃棄物)

Paper & plastic

(紙&プラスチック)

Fuel

(燃料)

R.P.Fとは主に廃プラスチックと紙くず(木くずも代用可)を混合して成型された固形燃料の事を言います。使用用途としては、石炭の代替燃料として主に製紙工場のボイラーで使用されます。

《成型条件》

以下の条件であれば当社の減容固化機(デュアルプレタイザー)にて成型可能です。

①投入物

紙・木くず・廃プラスチックを主に成型しますが、内容物としては成型する際にバインダー(のり)になりうるP.E等の120℃前後に融点がある軟質プラスチックがある程度入っている必要があります。

②破碎粒度

機種にもよりますが前処理として50mmから75mmくらいの破碎が必要です。押し出し成型後、製品の質にも影響します。

③水分含有量

投入物の合計の水分量が全体の12%以下が理想です。どうしても水分が多い場合、紙を多く投入する事によって全体の水分を吸わせ水分をコントロールできます。(その際、成型製品のカロリーが低くなります)

一軸式破砕機 新型シュレッドエース

破砕効率がさらにアップしたすぐれ技。

特長

- プッシャー（廃棄物をローター部に押し込む装置）が円弧移動することで、被破砕物の逃げが少なくなり、破砕効率がさらにアップしました。
- プッシャーのストロークを3段階に調節可能です。
- 従来の概念を超えた高性能な回転刃により、軟質なものでも容易に破砕ができます。
- 1つの回転刃で4回のローテーション使用ができ、さらにボルト1本で固定されているため、交換作業が誰でも簡単に行えます。
- スクリーンを交換することで破砕物の種類や大きさに合わせた破砕粒度の選定が可能となりました。その上、スクリーンはボタン1つで自動的に開閉されます。
- ダブルプッシャーの採用により、処理能力が一段とアップしました。（オプション）



ビニールシート・50mm



硬プラ・50mm



紙・35mm



軟質プラ・50mm



木・50mm

従来の破砕概念を超えた高性能なローターを開発。

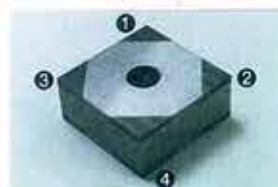


ローター部

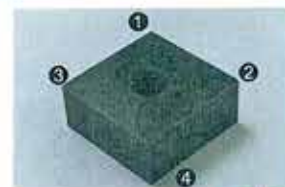


固定刃

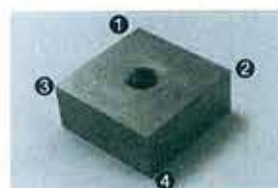
特殊鋼溶射を用いた耐摩耗施工。
4回のローテーション使用で回転刃の長寿命化を実現。



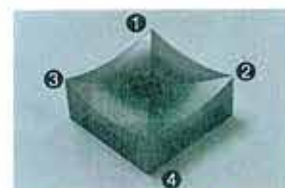
超硬鋼付け刃



標準刃

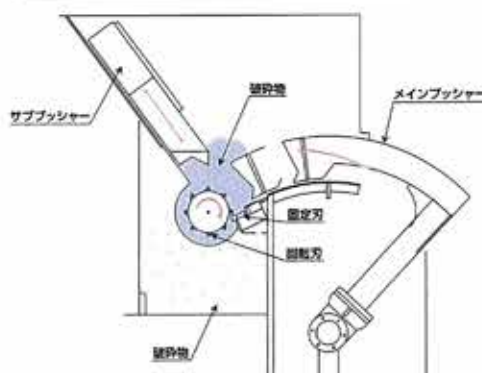


超硬刃



爪付き刃

従来のシングルプッシャーに比べ、
処理能力約20%アップ。



ダブルプッシャー（オプション）

【基本仕様】

	SA-30 (X)	SA-55 (X)	SA-90 (X)
ローター径 (mm)	φ316	φ400	φ522
ローター巾 (mm)	1,092	1,363	1,803
ローター回転数 (rpm)	90~120	90~120	80~100
回転刃 数量	38~76	60~90	90~120
電動機 (kw)	30 (37) ※3	55 (75) ※3	90 (110~132) ※3
油圧ユニット (kw)	3.7	3.7	5.5
破砕室寸法 (mm)	787x1,092	900x1,363	1,200x1,803
外形寸法 (LxWxH) (mm) ※1	2,500x2,500x1,815	4,700x3,000x2,100	4,900x3,800x2,245
重量 (kg)	6,000	10,000	15,000
処理能力 (t/Hr) ※2			
軟質プラスチック	0.2~1.0	0.3~1.5	0.5~2.5
硬質プラスチック	0.6~3.0	1.0~5.0	1.5~9.0
都市ごみ	0.12~0.6	0.2~1.0	0.3~1.5

※1 ホッパー高さは含まれません。

※2 処理能力は、スクリーン穴径及び電動機容量、ローター回転数、処理物性状により変わります。

※3 本体はそのまま大型モーターを搭載できます。

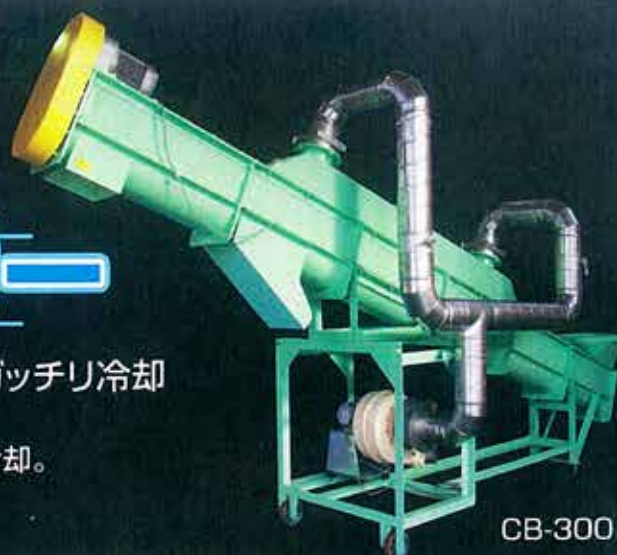
R.P.F搬送・冷却・選別・管理 1台4役

冷却・搬送コンベア

グールブレーカー

■押し出し成形・拙出時に高温になるR.P.Fをガッチリ冷却
空冷と水冷のダブルで確実な冷却。
排出時に約120℃のR.P.Fを表面温度約40℃以下に冷却。

※投入材料の種類、混合比率により冷却効率に差があります。

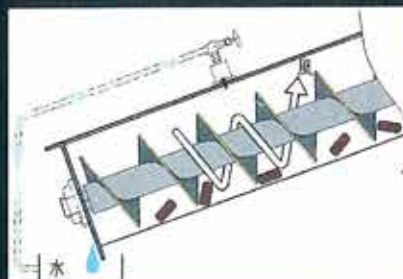


CB-300



冷却ファン

ファンをコンベアの下部に設置することで、コンパクトな設計が可能になりました。



冷却・内部構造

内部がスクリー構造になっているため、螺旋状に冷却風が通るので効率よくR.P.Fを冷却できます。

※夏場等で外気温が高い場合、配合によってR.P.Fの温度が高い場合は冷却水を散布する仕組みになっております。



冷却水

外気温が常温を超える場合のみ冷却水を使用します。また、循環型になっているので排水の心配はありません。



搬送

スクリーコンベアでR.P.Fを確実に搬送します。



平成18年11月からの法基準に対応

温度管理

検温装置により、連続的な検温とデータ保存が可能です。



排出ユニット

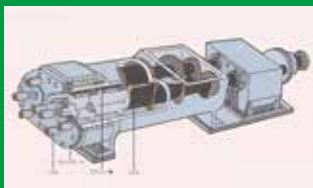
ケーシングの一部がスリットになっており、成形品のカスを分離出来ます。

基本仕様

型 式	CB-150	CB-200	CB-250	CB-350	CB-450	CB-400xx
ス ク リ ュ ー 径	φ150	φ200	φ250	φ350	φ450	φ400×2
機 長	3,000mm	5,500mm	5,500mm	5,500mm	5,500mm	5,500mm
電 動 機	0.75kw (本体)	1.5kw (本体)	2.2kw (本体)	2.2kw (本体)	2.2kw (本体)	2.2kw×2 (本体)
	0.1kw (ファン)	0.75kw (ファン)	1.5kw (ファン)	1.5kw (ファン)	3.7kw (ファン)	3.75kw (ファン)
	30w (ポンプ)	30w (ポンプ)	200w (ポンプ)	200w (ポンプ)	200w (ポンプ)	200w (ポンプ)
搬送能力(max)	100kg/h	500kg/h	1,000kg/h	1,500kg/h	2,000kg/h	3,000kg/h

DUAL PRETISER デュアルプレタイザー

様々な廃棄物の
固形燃料化及び
成型化が可能です



SQUEEZE SEPARATOR スクイズセパレーター

スクイズセパレーターでは
含水率の高いパルパー粕等
でも弊社オリジナルの脱水固
化機能で固化成型可能です



R.P.F.化・バイオマス燃料化及び固形化可能品リスト (一例)

処理前



処理後



プラ・木屑R.P.F.化

プラ50%・木屑50%
(成型条件: 含水率15%以下 破碎粒度50mmアンダー)



プラ・畳R.P.F.化

プラ30%・畳70%
(成型条件: 含水率15%以下 破碎粒度50mmアンダー)



発泡スチロール・木屑R.P.F.化

発泡スチロール30%・木屑70%
(成型条件: 含水率15%以下 破碎粒度50mmアンダー)



シュレッダーダストR.P.F.化

シュレッダーダスト100%
(成型条件: 含水率15%以下 破碎粒度50mmアンダー)



紙おむつR.P.F.化

紙おむつ 100%
(成型条件: 破碎粒度50mmアンダー)

処理前



処理後



シクロウレタン固形燃料化

シクロウレタン100%
(成型条件: 含水率10%以下)



パルパー粕固形燃料化

パルパー粕100%
(含水率 約70%→脱水固化後 約35% 破碎粒度50mmアンダー)



食品汚泥固形化

食品汚泥100%
(成型条件: 含水率 約15%)



下水道汚泥固形化

発酵下水道汚泥100%
(成型条件: 含水率 約15%)



炭・下水道汚泥固形化

炭5%・発酵下水道汚泥95%
(成型条件: 含水率 約15%)

デュアルプレタイザー・シュレッドエース 他 主な契約・納入実績

1985—2016

納入実績は2016年3月現在(敬称略)

1985年

- 宇部興産(株) 宇部工場
- 宇部興産(株) 千葉工場

1986年

- 宇部興産(株) 宇部工場

1987年

- (株)栗本鉄工所 住吉工場
- (株)日本熱研
- 手塚興産(株) 船橋工場
- (有)タイセイクリーン

1988年

- 一宮市役所 一宮清掃工場
- (株)ウィズウェストジャパン 上尾工場
- 三井鉱山(株)

1989年

- 宇部興産(株) 石炭事業部
- 所沢市役所 西部環境センター
- サンエー化学工業(株)
- 住友電工(株) 熊取工場
- (株)ウィズウェストジャパン 静岡営業所
- 山形県西村山広域清掃組合
- 寒河江クリーンセンター

1990年

- (株)クボタ 久宝寺工場
- 石坂産業(株) 入間工場
- 理研電線(株) 市島工場
- アサヒビール(株)
- 三菱電機(株) 熊本製作所
- 大分日本電気(株)
- 日化プラスチック(株)
- 王子製紙(株) 春日井工場
- 古河電気工業(株) 平塚事業所

1991年

- 進栄化成(株)
- 敦賀市清掃センター
- (株)コクヨ物流東京
- トピー工業(株)内トピー実業
- 富士通(株) 長野工場
- 富士産業廃棄物処理事業協同組合
- ふじみ衛生組合
- 宇部興産(株) 千葉工場
- 東芝機器(株) 天川分工場
- 古河電気工業(株) 平塚事業所
- 徳島市役所
- 三幸クリーンサービスセンター
- 横須賀火力発電所内
- 東電環境エンジニアリング(株)
- 静岡リプロ(株)

1992年

- 住友軽金属工業(株)
- 伸銅所加工品工場
- 東レペフ加工品(株)
- キヤノン(株) 取手工場
- 林テレンプ(株) 豊田工場
- 理研ビニル工業(株)
- 府中市クリーンセンター
- 豊田加茂産業廃棄物処理公社
- 昭和プロダクツ(株)
- (株)小谷中
- フルハシ工業(株)
- 越谷金属(株)
- 三菱化学(株)
- 三重ダイケン(株)

1993年

- (有)高砂螺子製作所
- 富士鋼業(株)
- 王子製紙(株) 富士工場

- 林テレンプ(株) 名古屋工場
- (株)ハイヤック 水島工場
- 日邦産業(株)
- (株)小谷中

1994年

- 理研電線(株) 島工場
- 長岡地区衛生処理組合
- 安達地方広域行政組合
- 日立造船(株) 技術研究所
- 新治地方広域事務組合
- (株)愛知
- 宇部テクノエンジニア(株)
- 日本電気(株) 横浜事業場
- (有)中部環境開発
- (株)マルミ興業

1995年

- 富双合成(株) 相馬工場
- 難波プレス工業(株) 高知工場
- 東名興産(有)
- 太平洋セメント(株) 熊谷工場
- (有)大成産業
- レトロ新潟(株)
- 東京都清掃局 中央防波堤埋立処分場
- (株)日立製作所 日立工場
- (有)ケイ・エム環境
- (株)エース製作所
- キヤノン(株) 富士リサーチパーク

1996年

- 福生市リサイクルセンター
- 東急車輛製造(株)
- (有)宮崎リサイクル
- 鳥取県西部広域行政管理局
- 市川環境エンジニアリング(株)
- (株)田丸
- 高松地区西部広域クリーンセンター
- 立川市総合リサイクルセンター
- (株)山形富士通

1997年

- 鶴岡市ほか六箇町村衛生処理組合
- 舞鶴市リサイクルプラザ
- 小千谷地区広域事務組合
- バブコック日立(株)
- 日本電気(株) 相模原事業場
- 大建工業(株) 名古屋工場
- 富士鋼業(株)
- (有)びわこ運送
- 兵庫西下水汚泥広域処理場
- (株)コーシンサービス
- (株)サンエー化研

1998年

- (有)ニッソー
- (株)クリーンシステム
- (株)旭商会
- 岩国市リサイクルプラザ
- 田村産業(株)
- (株)佐久産業
- 石垣市一般廃棄物最終処分場
- 沖電気工業(株) 富岡工場
- 秋田市リサイクルプラザ
- 明石市新大久保清掃工場
- リサイクルプラザ
- 鈴鹿市不燃物リサイクルセンター
- 天童環境(株)
- 丸功興運(株) 埼玉事業所
- 北関東通商(株)

1999年

- (有)大場組
- 凸版印刷(株) 相模原工場
- (有)ケミカルクリーンサービス
- 三光(株)

- 東北エプソン(株)
- オーソービジネス(有)
- 小松島リサイクルセンター
- キヤノン(株) 阿見事業所
- めらりサイクル(株)
- 岩槻市リサイクルプラザ
- 日本鋼管(株)
- ウエステック新日商総業(株)
- (株)共同土木
- 太平洋セメント(株) 香春工場

2000年

- 中遠環境保全(株)
- 西村山広域行政事務組合
- 寒河江地区クリーンセンター
- B社
- (株)アイダブリューディー
- (株)環境保全センター
- (有)彦中産業
- 伊那市役所鳩吹クリーンセンター
- 三菱マテリアル(株)
- エスクミツ川(株)
- (有)彦中産業
- (株)ナカダイ

2001年

- (株)ヤマコー
- 王子製紙(株) 富士工場
- 松江市
- 千代田産業(株)
- 仙台環境開発(株)
- (株)サンエー化研
- クリーンサービス(株)
- 高野興産(株)
- 東海バルブ(株)
- オンダン農業協同組合
- 諏訪重機運輸(株)

2002年

- 大田市
- (株)奈良県中和営膳
- 東海バルブ(株)
- 花王(株) 酒田工場
- 石坂産業(株)
- 北越環境(株)
- ジャーナル商事(株)
- (株)塵芥センター

2003年

- (株)松田商店
- ワコー(株)
- 神岡鋳業(株)
- (株)原田商店
- (株)マツダクリーンサービス
- (株)北陸環境サービス
- (株)エコひろなか
- 東海バルブ(株)
- 秩父太平洋セメント(株)

2004年

- (株)フェイス
- (株)ナカダイ
- (有)道央エンジニアリング
- (株)鹿庭産商
- 三峰工業(株)
- 七王工業(株)

2005年

- 御坊周辺市町村圏組合
- (株)メディカル・セフティ・システム
- (株)リサイクル松栄
- (株)ヤマゼン
- 山本商事(株)
- (株)大晶

2006年

- (株)バーチ
- 古河機械金属(株)
- 田中興産(株)
- (株)ディーエスクリエイト
- (株)武生環境保全
- (株)若林商店
- (株)高岡市衛生公社
- (株)山開発(株)
- (株)杉本商事
- (株)協和コーポレーション
- (株)沖縄計測
- (株)トキワ

2007年

- (株)協和コーポレーション
- (株)あぐりす
- (株)湊プラント工業
- 古河電気工業(株)
- キヤノン(株)

2008年

- 関東クリーンアシスト(株)
- (株)富士環境保全公社
- 川上建材(株)
- 大央工業(株)

2009年

- クリーンライフ(株)

2010年

- 鈴鹿市不燃物リサイクルセンター 2期事業

2011年

- (有)泰成電機工業
- YKK AP(株)
- 北大阪清掃(株)
- 北上製紙(株) 一関工場

2012年

- (株)郷鉄工所
- 光陽建設(株)
- 日本製紙(株) 石巻工場

2013年

- (株)マテック
- (株)不二産業
- (株)カネムラエコワークス

2014年

- (有)城南リサイクル

2015年

- ミサワホーム(株)
- 大和板紙(株)
- JFEアーバンリサイクル(株)
- (株)IWD
- (株)ナカダイ
- (有)丸美商店

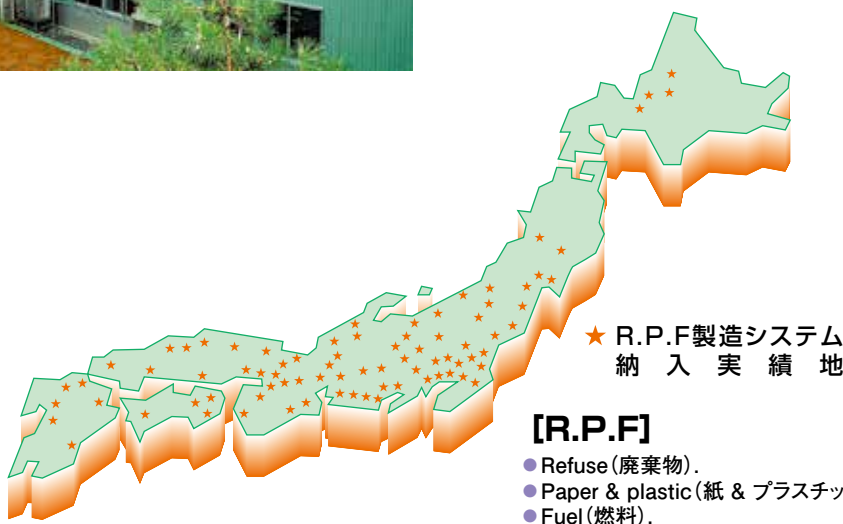
2016年

- (株)金本商店
- 北越環境(株)
- (株)杉本商事
- (株)G・フレンドリー



日本全国で活躍する
R.P.F製造システム。
多様化する時代に即応できる
充実したサポートと
メンテナンス体制でお応えします。

Vietnam



最新テクノロジーで循環型社会に貢献



株式会社 小 熊 鉄 工 所

本 社 工 場 / 〒945-1341 新潟県柏崎市茨目1253
TEL.0257(22)3781(代) FAX.0257(24)0173
名古屋事務所 / 〒454-0981 愛知県名古屋市中川区吉津2-2608
TEL.052(432)3502 FAX.052(432)3502

ホームページアドレス <http://www.oguma-iron-works.com>
E-mailアドレス info@oguma-iron-works.com



ホームページ